

病院

Hospital

ツーバイフォー工法の建方工事。上空に高圧線があり、パネルを重機で吊り上げる作業に工夫を要した。小屋組はトラスを採用。



近隣に保健医療センター、高齢者施設や小学校があるため、幅広い年齢層の人が安心して利用できるようにと計画された。擁壁を兼ねた鉄筋コンクリート造の上に2層のツーバイフォーの建物が載る構成。

3階建て、延床面積3,000㎡超 ツーバイフォー 2×4 耐火建築物の病院

高齢社会に対応し多世代交流を実現する都市として開発された地区に隣接するこの病院は、建設にあたって安心・安全・快適性を確保するとともに、環境への配慮が大きなテーマになりました。約5,000㎡の敷地は高低差が4mある傾斜地のため、土留めの擁壁を建築と一体化させる設計により1階は鉄筋コンクリート造、2階・3階はツーバイフォー工法で構成する混構造が採用され、延床面積約3,200㎡の大規模な耐火建築物の病院が完成しました。

鉄筋コンクリート造のフロアは主に診察や救急・検査等の外来部門と管理・運営スペース等、ツーバイフォー工法のフロアは木造ならではの心地よさが得られる72床が備えられた入院病棟という構成になっています。大通りに面する東側1階にメインエントランスが配置され、西側には駐車場から2階の病棟に直接アクセスできるエントランスがつけられています。「耐震性など基本性能に優れ、工期短縮・コスト低減が可能なツーバイフォー工法は病院建設においても信頼性の高い建築手法です。熱効率もよく環境にも人にもやさしい新しい病院像を打ち出すことができ、木造であることがオープン時の話題にもなったようです」と設計者は語りました。



(上)東側道路に面する1階のメインエントランスを入ると左手に受付、正面に待合ラウンジがある。
(下)2階と3階の南側にある食堂・談話室は、T字に通る廊下と一体に設けられ、トータルで230㎡超のオープン空間が実現した。



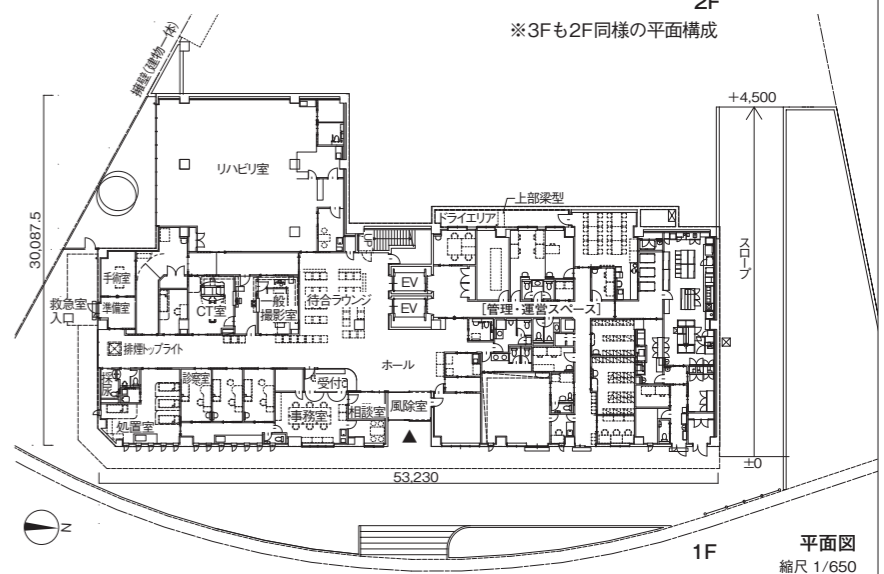
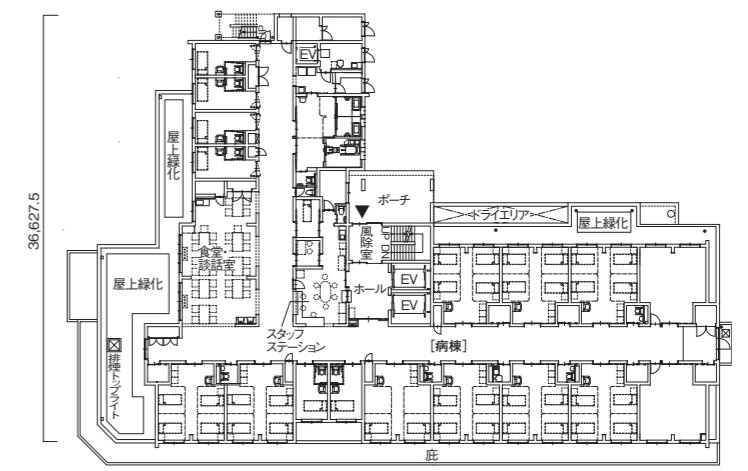
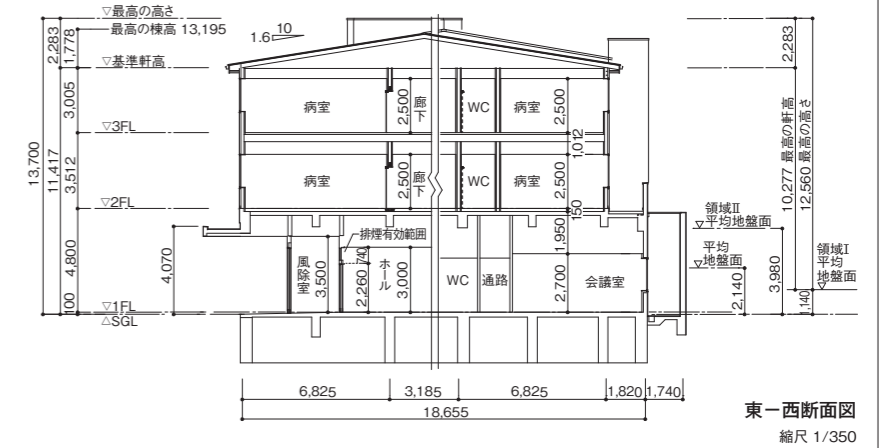
50台分の駐車スペースが設けられた建物西側。病院としての機能性や堅牢さ、清潔感を示すよう、外観の色はモノトーンで統一した。



建物西側から直接院内へアクセスできる2階中央のエントランス。



病室は2階に40床、3階に32床が設けられている。また、将来の増床にも対応可能な設計になっている。



物件概要 村田会湘南大庭病院 Hospital

所在地：神奈川県藤沢市
用途：病院
構造：1F 鉄筋コンクリート造
2F・3F 枠組壁工法〔耐火建築物〕
規模：3階建て
敷地面積：4,990.64㎡ (1,509.67坪)
建築面積：1,373.80㎡ (415.57坪)
延床面積：3,287.51㎡ (994.47坪)
事業主：医療法人社団 村田会
設計・監理：樹メドックス
施工：白石・ヤマムラ建設共同企業体
工期：2019年5月～2020年4月
法規制：第1種中高層住居専用地域
(建蔽率60%、容積率200%)、準防火地域